

お客様各位

## 投資信託をつくる会社として、今きちんとお伝えしたいこと

いつも数多くの商品の中から日興アセットマネジメントの投資信託をお選びくださいませ、誠にありがとうございます。

このたび、シティグループ・ジャパン・インベストメンツ・エルエルシーによる日興コーディアルグループ(NCC)株式のTOB(公開買付)の結果が公表されました。これにより、平成19年5月9日(決済の開始予定日)付でシティグループ・ジャパン・インベストメンツ・エルエルシーの所有するNCC社議決権数が総株主の議決権数の50%超となり、シティグループ・ジャパン・インベストメンツ・エルエルシーはNCC社の親会社および主要株主である筆頭株主となります。

この機会に、日興アセットマネジメントの投資信託をご愛顧くださっている皆様へ、以下のとおりメッセージをお伝えします。

私ビル・ワイルダーと現在の代表取締役会長兼CEOのティモシー・マッカーシーが日興アセットマネジメントの経営に参画したのが2004年です。これまで、世界的に優れた運用実績をあげている運用会社の多くがそうであるように、日興アセットマネジメントも「**運用の独立性**」を有する運用会社となることをめざして、さまざまな構造改革に取り組んでまいりました。運用会社である日興アセットマネジメントの唯一のミッションは、「お客様の大切な資産をお預かりし、優れた運用実績をご提供すること」です。そのために、投資に関する意思決定はお客様の利益を第一に考え、強固なコーポレートガバナンスを構築してまいりました。

また、運用会社として、「運用の独立性」に加えて大事なことは「**運用の継続性と一貫性**」です。運用者が頻繁に代わったり、運用の考え方がぶれたりするようでは、優れた運用実績は継続できません。日興アセットマネジメントは、すべての役社員が運用実績の向上に専念できるよう、体制の構築に努めています。日興アセットマネジメントの運用部門は、経験豊富な48名のファンドマネージャー、35名のアナリスト、17名のトレーダー(1)といった、国内随一の陣容を有していると自負しています。

加えて、「**最良の商品・サービスの提供**」も積極的に進めてまいりました。『財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型』は、2003年に設定された不動産投信を組み入れた国内初のバランス型公募投資信託となりました。また、そのユニークな販売促進ツールや手法は、窓販マーケティング表彰において優秀賞を受賞(2)し、純資産総額も1兆3,000億円超(3)へと育ちました。2005年には日本の投資家が中国A株に直接投資ができる国内初の追加型株式投資信託『日興AM中国A株ファンド(愛称:黄河)』、2006年には国内資産運用会社による初のBRICs株式投資信託『日興BRICs株式ファン

ド』といったように、他社に先駆けて“業界初”を積極投入しました。

おかげさまで、日興アセットマネジメントの投資信託が銀行窓販に占めるシェアは、3年前の2%台から8%を超える( 4)までに上昇しています。このように、多くの投資信託が皆様に選ばれている理由が、弊社の「**運用の独立性**」と「**運用の継続性と一貫性**」と「**最良の商品・サービスの提供**」にあるものと確信しています。

**日興アセットマネジメントは、投資信託をつくる会社**です。専門性はグローバルに、実践は日本的に。私たちは、資産運用により大きな付加価値を求めお客様の声に、実績でお応えしていきます。経営の独立性を尊ぶ体制により、「お客様の大切な資産をお預かりし、優れた運用実績をご提供すること」を大原則に、常に透明性の高い企業であり続けます。これからも日興アセットマネジメントが世界有数の運用会社になるよう、強い意志をもってこの改革を推し進め、更なる運用実績の向上と競争力のある商品・サービスの提供に全力を尽くす所存です。

引き続き日興アセットマネジメントの投資信託に変わらぬご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上

2007年4月27日

日興アセットマネジメント株式会社  
代表取締役社長 兼 最高投資責任者

**ビル・ワイルダー**

- ( 1)2007年3月末のデータ。
- ( 2)「財産3分法ファンド」は、2006年 Ma-Do 第1回 窓販マーケティング表彰の総合マーケティング部門ならびに映像部門において、優秀賞を受賞しました。
- ( 3)2007年3月末のデータ。
- ( 4)2007年2月末のデータ。